



## プロマネ格言！カレンダー メッセージ

私たち人材育成スタディ・グループは、プロジェクトの成功に欠かせない資質としての人間力を探求しています。プロマネ格言のカレンダーを作成しました。心の琴線に触れる言葉を、毎日胸に秘めながらプロジェクトマネジメントに邁進していただければ幸いです。

プロマネ格言！カレンダー  
PMI日本支部 人材育成スタディ・グループ

表紙としてご利用ください



プロジェクトマネジメントは、人類の夢を叶える術です。  
あなたのプロジェクトを成功に導く一助になれば、  
私たちは、とてもうれしいです。

プロマネ格言！カレンダー  
PMI日本支部 人材育成スタディ・グループ

裏表紙としてご利用ください



# プロマネ格言



プロマネ格言！カレンダー  
PMI日本支部 人材育成スタディ・グループ



# プロジェクト成功のカギは 人間力



プロマネ格言！カレンダー  
PMI日本支部 人材育成スタディ・グループ



## 熱い思いで マネジメントせよ！

# 1

プロジェクト・マネジャーに必要な人間力を「扇の要」  
として「七つの要諦」にまとめています。

- 【あ】相手の話を傾聴し、人を見て説け！
- 【つ】強い意志と信念で、メンバーを動機付け、プロジェクトを牽引せよ！
- 【い】いい(良い)チーム作りと共に、段取りと仕切りを考えてマネジメントせよ！
- 【お】おおきな視野を持ち、問題の本質を捉えよ！
- 【も】もっとも適切な方法を選択せよ！
- 【い】一流なら、倫理的行動規範に従い、責務をまっとうせよ！
- 【で】できる自分を想像し、何度も何度も繰り返し人間力を身に付けよ！



## 相手の話しを傾聴し、 人を見て説け！

# 2

傾聴とは相手の話に積極的に耳を傾け、関心を寄せ  
真意をつかみながら、共感を示すコミュニケーションで  
ある。「十人十色」10人いれば10人それぞれの考え方  
がある。相手に応じて適切に振る舞うことが肝要である。



## 相手の話は 心して聴け！

# 3

相手の話を「目と耳と心」で十分に聴くことが重要  
である。そのためには、内容だけでなく、語調や態  
度にも注意し真意をつかむように心がけて聴くこと  
である。途中で話の腰を折ったり、話題をそらしたり  
してはいけない。



## 相手の理解を、 確認せよ！

# 4

「わかりました」という相手の返事を鵜呑みにしてはい  
けない。こちらの思いが、相手に正しく伝わっていると  
は限らない。相手がどのように理解したかを説明して  
もらい、真意が伝わっているかを確認すべきである。

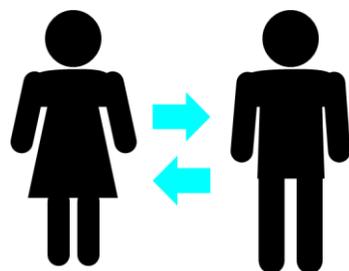




## コミュニケーションは適時、 適切を心がけよ。かつ、継続せよ！

# 5

一方的な指示や伝達ではなく双方向のコミュニケーションを心がける。目的と相手の状況に応じて、内容の妥当性、頻度、粒度など考慮し、継続的にコミュニケーションする。互いの考え方や発言の意図を理解し合うことで良好な人間関係を構築できる。



## 強い意志と信念を持ち、 チームを導け！

# 6

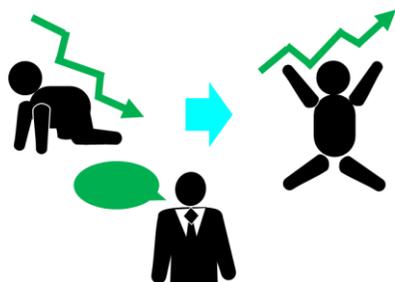
プロジェクトを完遂させる強い意志と信念を持ち、メンバーの能力を最大限に発揮できるよう支援する。



## 強い意志と信念で、メンバーを動機 付け、プロジェクトを牽引せよ！

# 7

プロジェクトのビジョンを「自分の言葉」で語り、チームが共通のゴールに向かうように動機付ける。そうすることにより、メンバーおよびチームの最高のパフォーマンスを引き出すことができる。



## チーム・メンバーを動機付けし、 パフォーマンスを向上せよ！

# 8

人は共感し納得しなければ動かない。メンバーは、納得できれば目標を達成しようと責任を受け、創意工夫できる能力を持っている。個人に合わせて、高い目標を設定し、チームのパフォーマンスを向上させる。

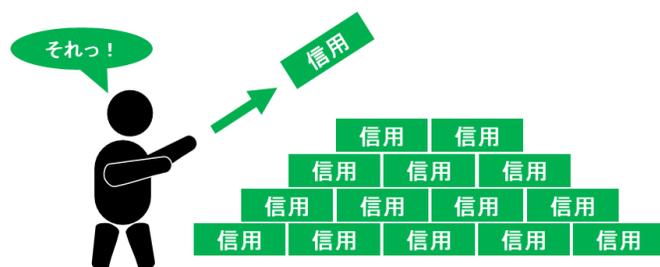




## 常日頃、効果的な関係を構築せよ！

9

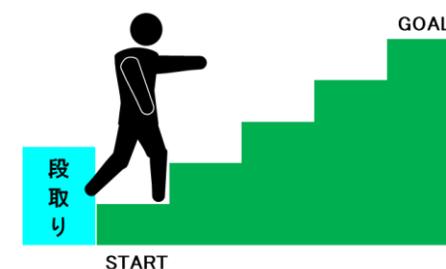
信用と信頼の関係がなければ、指導力は発揮できない。普段から、誠実で真摯な対応を心がけることが重要である。日々の信用を積み重ね、信頼関係の構築・維持に努める。



## 良いチーム作りと共に、段取りと仕切りを考えてマネジメントせよ！

10

いつも「阿吽(あうん)の呼吸」のメンバーでチームができるとは限らない。良いチームに育てるには、仲間が想いを一つにして、ゴールに向かって進んでいける体制づくりが重要である。



## 自ら働きかけ、チームの想いをつなげ！

11

メンバーには自分から働きかけ、自分と相手の考えや思いを共有する。その上でプロジェクトの期待と責任について明確な説明を行い、その重要性を理解させる。



## 英知を結集し、最適な進め方を選択せよ！

12

自分の考えや経験にとらわれず、組織のプロセスや一般慣行も取り入れるようにする。また、組織のプロセスを鵜呑みにせず、プロジェクト特性を踏まえ自ら判断することも必要である。臨機応変に進め方を調整する。





## コンフリクトには 勇気をもって立ち向かえ！

# 13

常にコンフリクト(利害対立)の発生には敏感に反応し、その解消には適切な方法で勇気をもって判断し、メンバーやステークホルダーにしっかり説明することが肝要である。



## おおきな視野を持ち、 問題の本質を捉えよ！

# 14

順調だと思うときこそ、「何か見落としががないか」と目を凝らして見るのが大切である。逆に、問題だと思うときは、目先の問題だけに捉われるのではなく、高所大所からも見るとよい。

そうすれば、問題だけでなく、その背景や影響範囲、さらには真因にまで、思いが及ぶ。つまり、何事も広く見た上で、肝をおさえる。



## 視点は柔らかく、視野を広く、 視座は高くあれ！

# 15

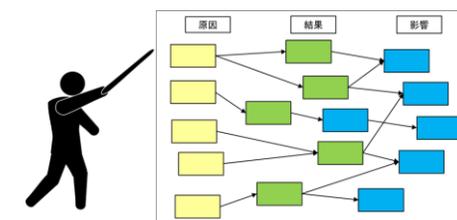
適切な判断・行動ができるためには、まず「俯瞰する」情報収集力が必要である。さまざまな視点・視野・視座から得られる情報(状態、関心、思いなど)が重要である。そのためには、アンテナを高く、ネットワークを広くする必要がある。



## 問題や課題の因果関係を 見極めよ！

# 16

問題や課題を解決するためには、状況を的確に認識する分析力が必要である。問題・課題の根本的な発生原因を特定するために「なぜなぜ」と問いかけ、真の原因を追究する。情報収集に不確定要素があれば、仮説・検証する力も必要である。





## 過去の教訓に学べ！

# 17

広く知られた、あるいは組織が持つ教訓には、自分の経験からは計り知れない多くのヒントが結集されている。そのまま活かすことがむずかしい場合でも、少し見方を変えれば役立つことも多い。困ったときに、あわてて教訓を探すのではなく、常日頃から学び、実践で活かす工夫をすることが肝要である。



## もっとも適切な方法を選択せよ！

# 18

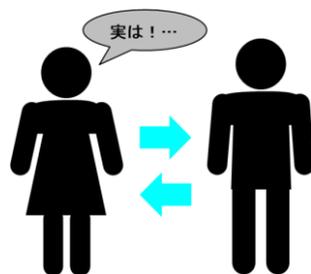
もっとも適切な方法を選択するために、非公式なコミュニケーションを大切にし、ステークホルダーを味方にして、シナジー効果を発揮する。



## 非公式なコミュニケーションも大切に！

# 19

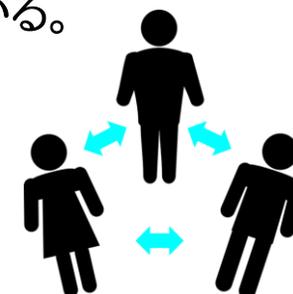
公式な場では建て前でしか話せないこともある。非公式な場であれば、本音で会話でき、プロジェクト成功につながる人が多い。



## シナジー効果を発揮せよ！

# 20

メンバーを含め現在の問題を真摯に受け止め、最善策をみんなで考える。「三人寄れば文殊の知恵」「脳は質問すればその答えが見つかるまで探し続ける」「1+1=3にも4にもなる」と言われている。





## ステークホルダーを 味方にせよ！

# 21

プロジェクト・マネジャーは孤独である。ステークホルダーをいかに味方につけるかも人間力の重要な要素である。ステークホルダーとは交流を深め、いざというときには、相談相手として意見を求められる関係を構築する。



## 一流なら、倫理的行動規範に 従い、責務をまっとうせよ！

# 22

だれにでも公平・公正・公明な態度で接し、ルールを厳守し、責務を果たす。



## 覚悟を決めて 責務をまっとうせよ！

# 23

プロジェクトには、無理難題が降りかかってくる。プロジェクト・マネジャーが諦めたらプロジェクトは成功しない。引き受けた任務は覚悟を決めてやり遂げる。



## 相手の立場を尊重し、 誠実に対応せよ！

# 24

ステークホルダーは、それぞれの立場で、会社(組織)の一員として行動・発言している。相手の立場を尊重し、公平・公正・公明な態度で接し、規定・規則・約束ごとは絶対に遵守する誠実さを持って対応する。





## 常に冷静沈着であれ！ 25

どんなに厳しい環境下でもストレスをコントロールし、冷静に判断する。



## できる自分を想像し、何度も何度も繰り返して人間力を身に付けよ！ 26

人間力を磨くには、プロフェッショナルにふさわしい行動を何度も何度も繰り返して、習慣化することである。



## なりたい自分を想像し、宣言せよ！ 27

どのような人物になりたいのかを考え目標とする人物を想像し、できる自分を宣言することで困難に立ち向かうことができる。



## 優先順位を付けて着実に実行せよ！ 28

すべてを一度に実践することは、困難である。それぞれの場面に応じて重要な行動を意識して着実に実行することで、人間力が磨かれる。





## 振り返り、次の行動を常に考えよ！

# 29

できなかったことや、こうすればもっとうまくいく方法はないかと自分自身の行動を振り返り、次にどのような行動をとれば良いかを常に考えながら行動する。



## 指導力、肝心なのは動機付け、上にも下にも自分にも！

# 30

指導力の発揮には、動機付けが肝要である。それは自分自身にも言えることである。ステークホルダーと ミッション、価値、目的・目標などを共有し、キックオフ以降も繰り返し確認することが大切である。



## 主語は「私たち」を使うべし！

# 31

「私は」「あなたは」ではなく「私たち」を主語にすることで、チームとして一体感をもつことができる。



プロマネ格言！カレンダー  
発行年月：2023年6月  
PMI日本支部 人材育成スタディ・グループ